

デジタルネイティブの君たちへ



インターネットって何でしょう？

今まではなかった便利な道具でしょう
か？

それとも生まれたときからそこにあっ
て、特に意識したことはありませんか？



インターネットとは便利な道具ではなく、あなたが生きている「触ることや直接見ることができる世界」とは異なる新しい世界です。そこでは、距離という概念がなく、その移動に必要な時間がかからない世界です。だから、地球の裏側にいる人にだって、いつでも一瞬で、あなたのメッセージを届けることができます。



SNSやさまざまなアプリも、このインターネット上に作られているので、インターネットと同じ性質をもっています。

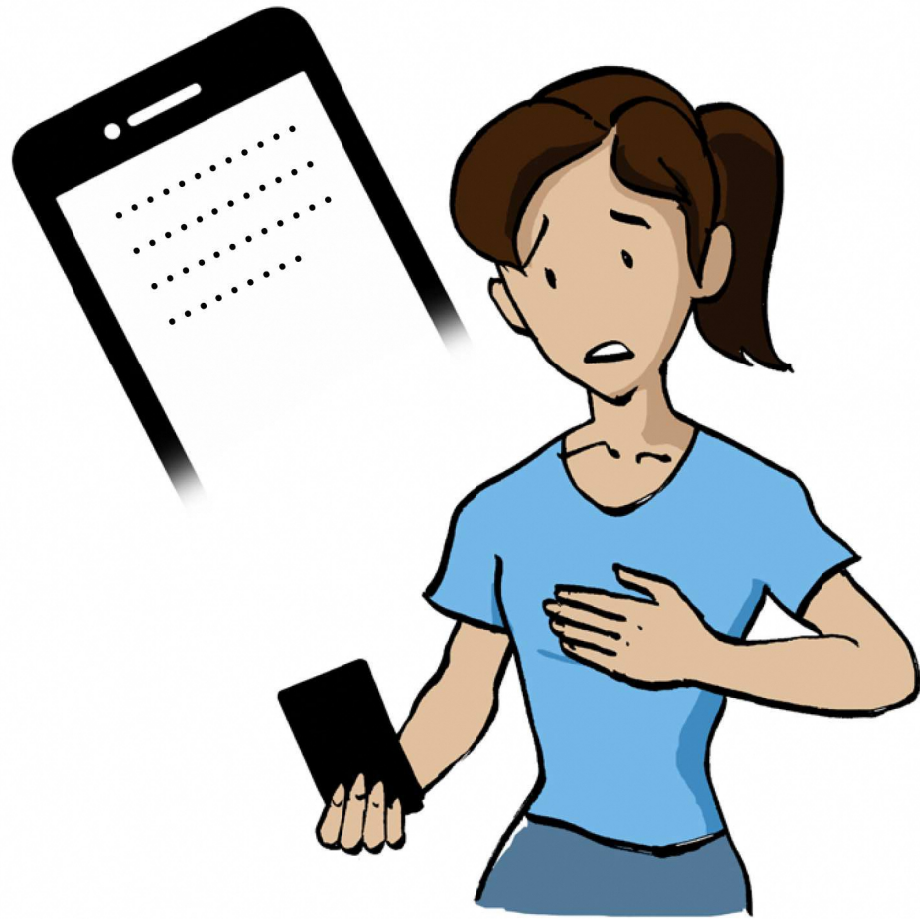
「距離がない」SNSでは、メッセージや写真などを世界中の人々と簡単に共有することができます。友だちはもちろん憧れのタレントなどが発信した情報をチェックすることだって簡単です。一度つながりが途絶えた古い友だちと再会できることもありますし、同じ趣味をもつ人が地球の裏側にいても見つけることだってできます。それはとても便利ですね。



あなたがSNSに、日々の出来事を投稿したり、写真を共有したりすると、距離がないその世界では、世界中の悪いことを考える人も見ることができます。

そしてその投稿の中には、現実世界のあなたを見つけるたくさんの手がかりが含まれています。投稿している内容から生活リズムを特定されたり、写真に映り込んだわずかなことから学校や住所を特定されたり…。

そして、もしかすると、それを見た誰かが、突然あなたの目の前に現れるかもしれません。



Aさんのお話をいたしましょう。

Aさんは、SNSでプロフィールや自分の写真を公開し、近況などを投稿して、そこに寄せられるコメントやメッセージを毎日楽しみにしていました。

しかし、ある日、面識のない男性から「付き合ってください」というメッセージが届きます。最初は適当に返事をしていましたが、あまりにもしつこくメッセージが送られてくるため、「迷惑ですので、もうメッセージしないでください」と返事をしました。

一件落着。いいえ、話はそこで終わらなかったのです。



次の日から、脅迫的な言葉が並べられたメッセージが次々と送られてきたり、Aさんを実名で誹謗中傷する内容が、ネットのさまざまな場所に投稿されたりしました。さらに、しばらくすると、「お前の住んでいる場所は分かっているんだぞ」というメッセージまで送られてきました。そこに書かれている住所は、確かにAさんのものだったのです。その後、Aさんはどうなったでしょう…



Bさんの話をみてみましょう。

Bさんは、アルバイト先の店内で軽い気持ちで悪ふざけをし、その様子を動画で撮影してSNSに投稿しました。投稿は匿名で、すぐに消える、友だちしか見ることができない設定にしていた。「誰かおもしろがってくれるかな」と期待をしながら…。



しかし、その動画はあっという間に他のSNSに転載されて拡散し、BさんやBさんのアルバイト先の店を非難する投稿が寄せられました。すぐに大きなニュースにもなり、Bさんはアルバイトを辞めざるを得なくなりました。店は信用を失ったことで巨額の損失を受け、Bさんは店から親も払えないほどの損害賠償を請求されることとなりました。さらに、インターネット上では、Bさんの氏名、年齢、通学していた学校、家族や恋人の写真や名前が次々に特定されて投稿されました。中には本当のことではないことも含まれていましたが、火がついた勢いは止まりませんでした。「そんなことになるとは思わなかった」——そう思ったら、これをなかったことにできるでしょうか…



Cさんの話もみてみましょう。

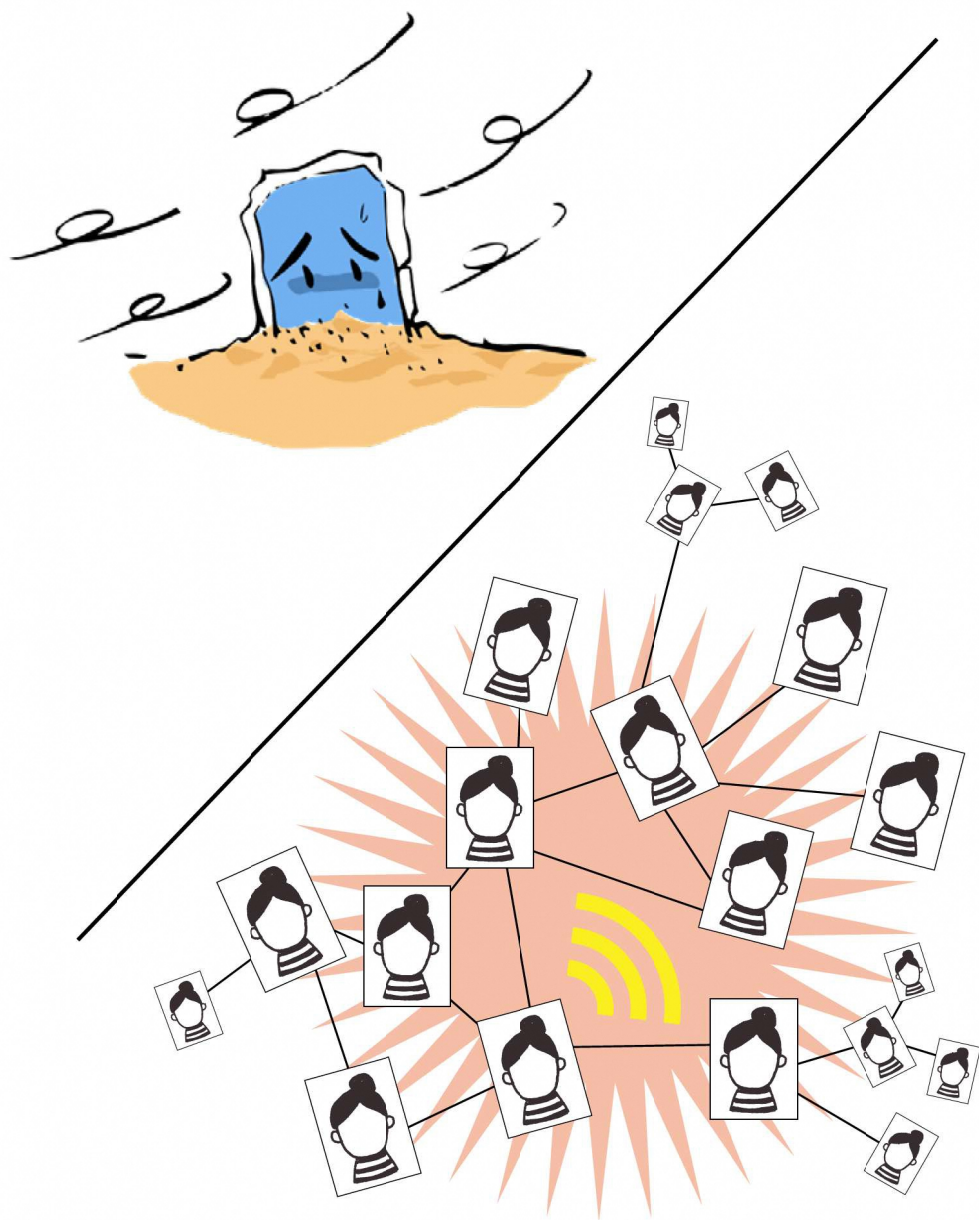
高校1年生のCさんは、部活動と勉強との両立で悩んでいました。そんなときに、同じ部活動で隣のクラスのDさんから「理想が高すぎ、気にしすぎ」と言われ、もやもやした気持ちで帰りました。

帰宅したCさんはスマートフォンに向かい、クラスの友だちで作ったSNSのグループに、軽い気持ちでDさんに対する不満を書き込みました。

すると、他の友だちからも「私もカチンとくることがあるんだよね」というコメントが返ってきたため、CさんはDさんに対する中傷や文句を書き込みました。



その後、Dさんに対する非難・中傷に加わる人が増え、その勢いにCさんは、まずいことになったと思いましたが、止める勇気はありませんでした。翌日、学校に行くとDさんは登校しておらず、翌週もその翌週もDさんは学校に来ませんでした。Dさんが学校に来なくなったのは、Cさんにその理由があるのでしょうか…



私たちが生きている現実世界には、光や風、雨などのように、あらゆるものの形を変え、時に消し去る力が存在しています。人とその記憶を含めて。しかし、インターネットの世界ではそういった力が存在せず、一度記録された情報は意思をもって追いかけて消さない限り、消えないままそこにあります。そして、劣化することはないため、何年経っても全く同じまま、無限にコピーし、拡散することができるのです。



失敗した、ここから逃げよう、忘れ去られるまで隠れていよう、そう思い、名前を変えて、住む場所を変えても、新しい生活を始めても、誰かがそれを探し出し、昔の情報を結びつけば、すべてはつながって検索されてしまいます。受験の時も、入社試験の時も、結婚しようとしたときも、子どもが生まれて保護者で集まったときも、子どもの受験の時も、子どもが結婚するときも、孫が生まれて物心ついたときも…。「そういう人だったんだ。」と突然言われ、突然昔のあなたが、そしてそれを責める人たちが、あなたの前に姿を現すかもしれません。

たとえあなたが悪くなかったとしても、そういうことが起こりうるのです。



ネットに刻まれる過去の自分の姿は、消すことができない刺青（タトゥー）にたとえて、デジタルタトゥーと呼ばれています。

それがたとえ誤った情報だとしても、たとえ後のあなたがどれだけ反省しても、一度刻み込まれたあなた自身の「記録」は消えないのです。自分で削除しても、それまでにデータはコピーされ、別のSNS上に投稿され、興味をもった人によってさらに拡散され、あるいは保存され、いつまたネットに姿を現すか分からないのです。

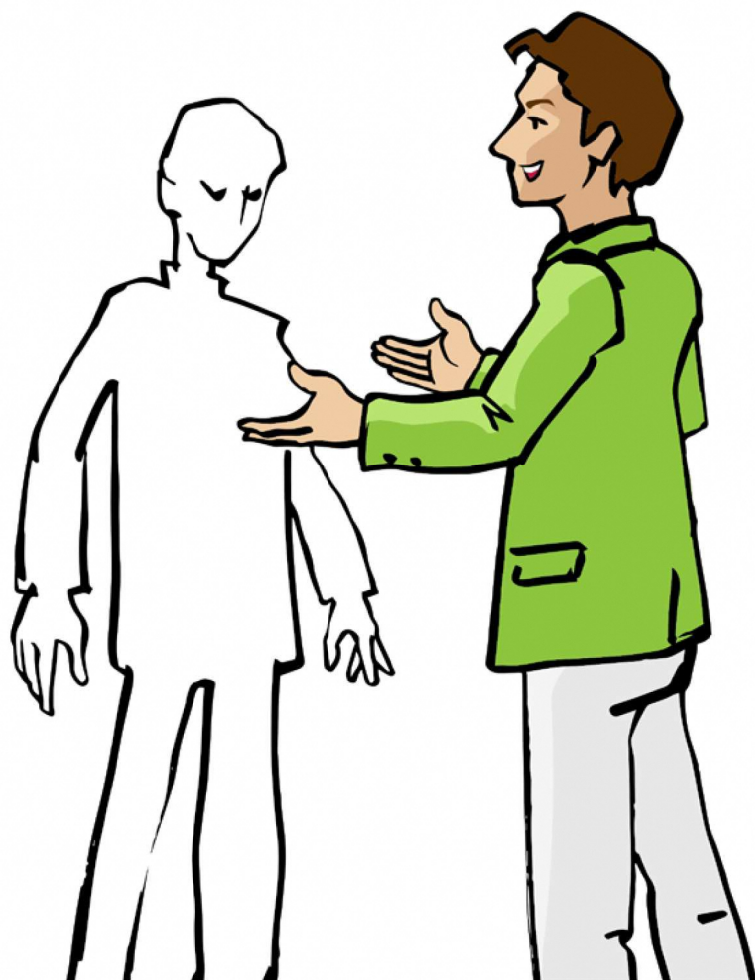


インターネットは生まれたばかりの新世界。だからその世界に合わせた独自の社会を守る行政のシステムも、悪い人を取り締まる警察のようなものもまだありません。

野生の動物や未知の病気が潜む、新大陸のようなものです。

たとえ今日、何もなかったとしても、それはたまたまその日被害に遭わなかっただけかもしれません。

現実世界の行政や警察の人たちが、インターネットの中でもみんなを守ろうと日々努力していますが、インターネット世界の広がり方が速すぎてまだ追いつけないのです。



新しい世界に秩序ある社会を作り上げられるまで、まだまだ時間がかかります。だから、今は自ら身を守り、新しい世界の構造を理解して、インターネットを正しく怖がりながら使ってください。

そして、インターネット上の誹謗・中傷などは犯罪行為にあたります。そんなとき、あなたを守ってくれる現実世界とのつながりを大切にしてください。不安になることがあれば、一人で抱えずに先生に相談してみましょう。



それに、インターネットは怖いだけではありません。

インターネットは世界中の人と人をつなぐ架け橋です。それは今まで距離と時間と必要だったお金により存在していた古い世界の物理的・精神的な「制約」、人々を隔てる「常識」という壁を打ち破ります。

子どもの頃、常識という壁が固まらないうちに、世界中の人と接して語り合えば、互いの文化や考え方が混じり合ったものが、新しい常識になります。言葉の壁もテクノロジーが越えさせてくれるでしょう。



若いあなたたちは、インターネットを通じて、「新しい常識」を作ることができる場所に立っています。その先に進めば、今、世界中で起こっている、様々な争いの多くをなくしていくことができるかもしれません。

世界が向かう方向は、あなたたちにかかっています。インターネットをどのように使っていきますか？